

余市の「おもてなし」向上へ

来月、訪日客受け入れセミナー

【余市】訪日外国人観光客（インバウンド）受け入れセミナー（町、余市観光協会共催）が8月2日午後6時から、町中央公民館で開かれる。

昨年の訪日外国人旅行者数が過去最高の約2400万人を記録したことなどから、受け入れ環境の充実や観光PRの方法を学ぼうと初めて企画した。

セミナーでは、管内のインバウンド観光の受け入れ環境をニセコ町と小樽市の担当者が紹介。また町内の現状を余市観光協会が説明する。

続いて、小樽商大出身でダイヤモンド・ビッグ社インバウンド事業顧問の川端祥司さんが講演。地域活性化支援アドバイザーも務める川端さんは、活性化戦略を解説する。

入場無料。申し込みは25日までに町商工観光課 ☎0135・21・2125へ。
（竹内博）

NIE

教育に新聞を

北海道の社会・経済
筑井報道部長講演
小樽商科大

小樽商科大で「北海道から、考える」と題した公開講座があり、毎日新聞北海道支社の筑井直樹報道部長が「新聞記者から見た北海道の社会・経済」をテーマに学生ら約

20人を対象に講演した＝写真。

筑井部長は今年で20年となる北海道拓殖銀行の経営破綻やJRの安全問題を題材に、毎日新聞の「記者の目」の成り立ちや背景を解説。「新聞は就職活動にも役に立つ。メディアリテラシー（情報を読み解く力）を身につけるためにも読んでほしい」と訴えた。

講座は斎藤健一郎准教授（行政法）の主催で一般にも公開された。

◇

毎日新聞は記者を教育現場に派遣する「教育サポーター制度」を行っています。問い合わせは北海道支社記者派遣係（011・281・5468）。

